

(様式1-2)

涌谷町 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月23日 設置の有無: 有

平成26年11月時点

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), うち、特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額, 各年度の交付対象事業費(注4) (平成23年度-平成27年度), 全体事業費(注5), 全体事業期間(注6), 備考(注7). Includes a summary row at the bottom.

Summary table with columns: 都道府県名 (宮城県), 市町村名 (涌谷町), 担当部局名 (企画財政課企画班), 電話番号 (0229-43-2112), 担当者氏名 (今野 千鶴), メールアドレス (c-konno326@town.wakuya.miyagi.jp).

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「総交付対象事業費」は、「交付期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注5)「全体事業期間」は、平成28年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成28年度以降も含めて記載をする。

(注6)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「備考」に年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(注8)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

涌谷町 復興交付金事業計画 平成24年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

平成26年11月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Main table with columns: No., 事業番号, 事業名, 地区名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率, 交付対象事業費, 交付対象事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額, うち交付金交付額, 年度間調整額, 調整後の交付金交付額, 備考.

Summary table with columns: 都道県名, 宮城県, 担当部局名, 企画財政課企画班, 担当者氏名, 今野 千鶴, 市町村名, 涌谷町, 電話番号, 0229-43-2112, メールアドレス, c-konn326@town.wakuya.miyagi.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
(注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

涌谷町 復興交付金事業計画 平成25年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

平成26年11月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Main data table with columns: No., 事業番号, 事業名, 地区名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率, 交付対象事業費, 交付対象事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額, うち交付金交付額, 年度間調整額, 調整後の交付金交付額, 備考.

Summary table with columns: 都道府県名, 宮城県, 担当部局名, 企画財政課企画班, 担当者氏名, 今野 千鶴, 市町村名, 涌谷町, 電話番号, 0229-43-2112, メールアドレス, c-konn326@town.wakuya.miyagi.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

涌谷町 復興交付金事業計画 平成26年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

平成26年11月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率(a)(注3), 交付対象事業費(b), 交付対象事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額(c), うち交付金交付額基幹事業の場合(d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合(d)=0.8c, 年度間調整額(国費)(e), 調整後の交付金交付額(f)=d-e, 備考. Includes a summary row for '合計額'.

Table with columns: 都道府県名 (宮城県), 担当部局名 (企画財政課企画班), 担当者氏名 (今野 千鶴), 市町村名 (涌谷町), 電話番号 (0229-43-2112), メールアドレス (c-konn326@town.wakuya.miyagi.jp)

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4) 基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6) 上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式 1-3)

涌谷町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成26年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	5	事業名	災害公営住宅家賃低廉化事業		事業番号	D-5-1
交付団体	涌谷町		事業実施主体(直接/間接)		涌谷町(直接)	
総交付対象事業費	7,859(千円)		全体事業費		337,941(千円)	
事業概要						
<p>町における地震被害等により住宅を失った被災者のうち、経済的理由等により自力による住宅の復興などの生活再建が困難となる世帯に対して、町内3箇所(六軒町裏地区、渋江地区、中江南地区)に災害公営住宅を整備している。建設戸数は六軒町裏地区8戸、渋江地区28戸、中江南地区12戸。平成26年7月に六軒町裏地区8戸が完成し、9月から入居を開始した。災害公営住宅入居者の居住の安定を図るため、家賃の低廉化を行う。</p> <p>(対象世帯数) 22世帯</p> <p>平成26年度入居見込みの世帯を対象とし、六軒町裏地区は入居期間を6戸については7ヶ月間、2戸については5ヶ月間及び渋江地区については28戸のうち14戸が平成27年2月から2ヶ月間入居見込で事業費を算定した。</p> <p>平成27年度以降も実施予定であり、事業費については26年度の実績を考慮し、全戸入居見込で算出。</p>						
当面の事業概要						
<p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成24年7月 被災者へ意向調査。最終的に48世帯が入居の意向 <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成25年7月～ 建設開始 <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成26年7月 六軒町裏地区完成平成26年9月～ 六軒町裏住宅8戸入居開始、家賃低廉化措置実施平成27年2月～ 渋江住宅28戸のうち14戸入居開始予定 <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成27年4月～ 渋江住宅残り14戸、中江南住宅12戸入居開始予定、家賃低廉化措置実施						
東日本大震災の被害との関係						
<p>東日本大震災によって、滅失した住家(半壊等の被害を受けて解体した住家を含む。)の5割以内の戸数を最大として災害公営住宅を整備する。</p> <p>【当町の家屋被害状況】 全壊 144戸、大規模半壊 189戸、半壊 546戸、一部損壊 1,034戸(平成26年3月末日現在)</p>						
関連する災害復旧事業の概要						

(参考様式)

涌谷町復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成26年度)

平成26年11月時点

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	涌谷町	No.	5 事業番号	D-5-1	事業名	災害公営住宅公営住宅整備事	事業実施主体	涌谷町	
項 目	平成26年度								
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		備 考
六軒町裏地区 建設工事	平成25年7月から		→						
六軒町裏地区 入居				入居開始、低廉化事業実施		→			
渋江地区 建設工事	平成25年7月から		→		28戸中14戸完成予定	残14戸完成予定	→		
渋江地区 入居						入居開始、低廉化事業実施		→	
中江南地区 建設工事	平成25年7月から		→						
中江南地区 入居									

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

(様式 1-3)

涌谷町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成26年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	東日本大震災特別家賃低減事業	事業番号	D-6-1
交付団体	涌谷町	事業実施主体 (直接/間接)	涌谷町 (直接)		
総交付対象事業費	1,714 (千円)	全体事業費	57,646 (千円)		
事業概要					
<p>町における地震被害等により住宅を失った被災者のうち、経済的理由等により自力による住宅の復興などの生活再建が困難となる世帯に対して、町内3箇所(六軒町裏地区、渋江地区、中江南地区)に災害公営住宅を整備している。建設戸数は六軒町裏地区8戸、渋江地区28戸、中江南地区12戸。平成26年7月に六軒町裏地区8戸が完成し、9月から入居を開始した。災害公営住宅入居者の居住の安定を図るため、特別家賃低減を行う。</p> <p>(対象世帯数)</p> <p>平成26年度入居見込22世帯のうち21世帯(月所得額が80,000円以下の世帯を対象)</p> <p>平成26年度入居見込の世帯を対象とし、六軒町裏地区は入居期間を5戸については7ヶ月間、2戸については5ヶ月間及び渋江地区については28戸のうち14戸が平成27年2月から2ヶ月間入居見込で事業費を算定した。</p> <p>平成27年度以降も実施予定であり、事業費については26年度の実績を考慮し、全戸入居見込で算出。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成24年7月 被災者へ意向調査。最終的に48世帯が入居の意向 <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成25年7月～ 建設開始 <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成26年7月 六軒町裏地区完成平成26年9月～ 六軒町裏住宅8戸入居開始、特別家賃低減措置実施平成27年2月～ 渋江住宅28戸のうち14戸入居開始予定 <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none">平成27年4月～ 渋江住宅残り14戸、中江南住宅12戸入居開始予定、特別家賃低減措置実施					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災によって、滅失した住家(半壊等の被害を受けて解体した住家を含む。)の5割以内の戸数を最大として災害公営住宅を整備する。</p> <p>【当町の家屋被害状況】</p> <p>全壊 144戸、大規模半壊 189戸、半壊 546戸、一部損壊 1,034戸(平成26年3月末日現在)</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

(参考様式)

涌谷町復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成26年度)

平成26年11月時点

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	涌谷町	No.	6	事業番号	D-6-1	事業名	災害公営住宅公営住宅整備事	事業実施主体	涌谷町
項 目	平成26年度								
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		備 考
六軒町裏地区 建設工事	平成25年7月から		→						
六軒町裏地区 入居					入居開始、特別家賃低減実施		→		
渋江地区 建設工事	平成25年7月から		→		28戸中14戸完成予定		→ 残14戸完成予定		
渋江地区 入居							入居開始、特別家賃低減実施		→
中江南地区 建設工事	平成25年7月から		→						
中江南地区 入居									

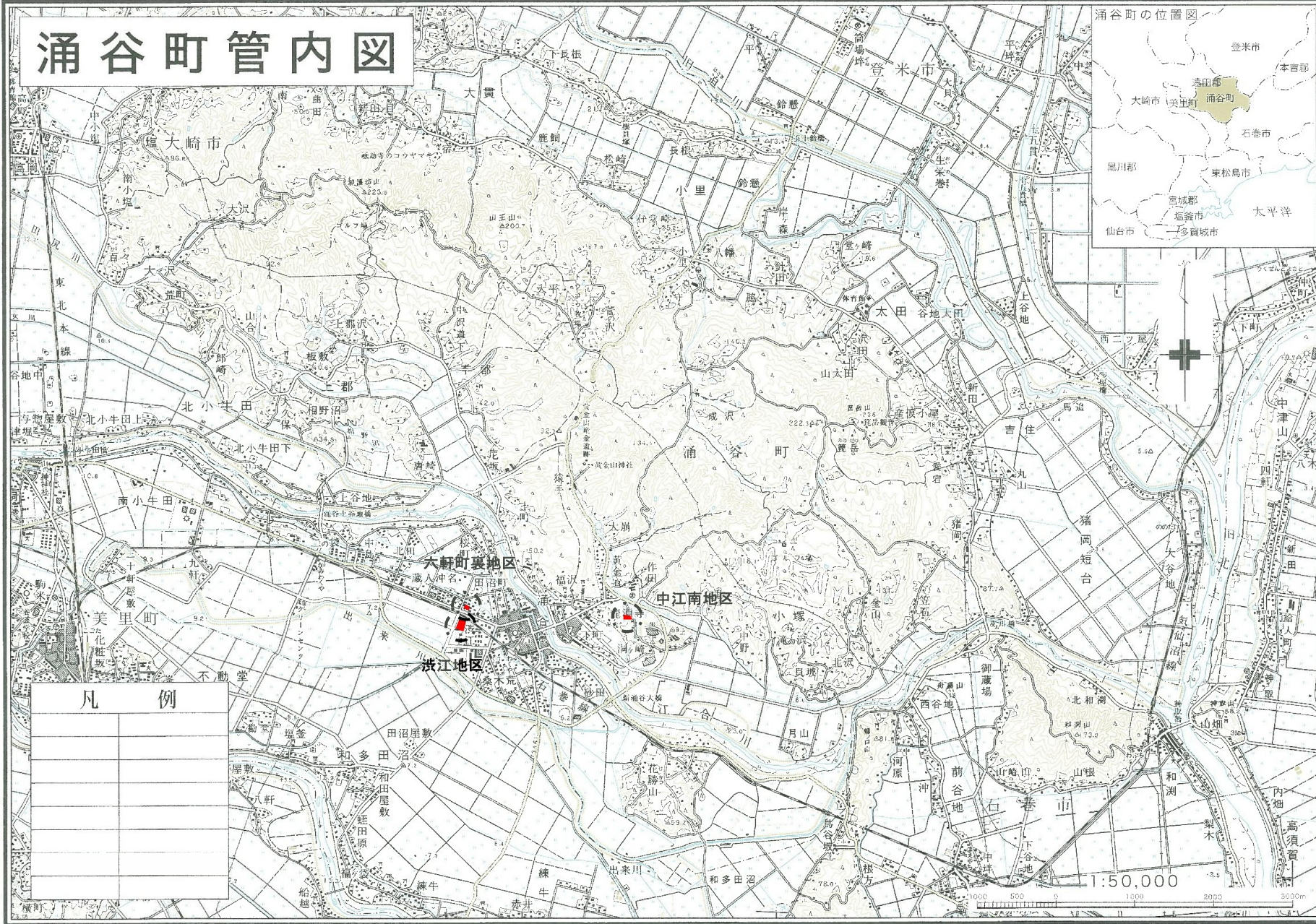
(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

位置図

涌谷町管内図



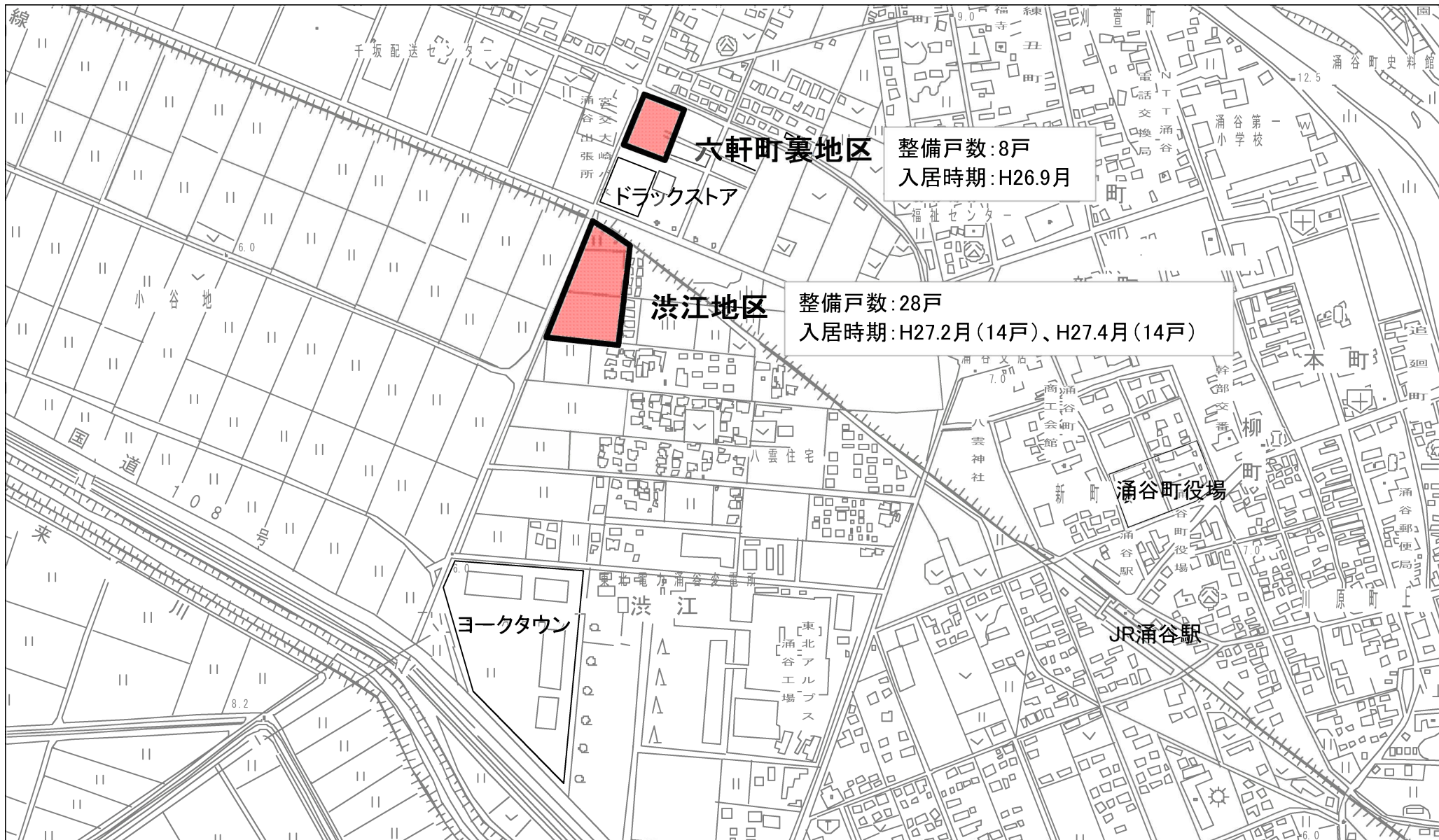
凡例	

国土地理院承認済
【承認番号】平一〇、東復第八号
宮城県遠田郡涌谷町

平成20年4月

仙台市青葉区二日町13-30 株式会社 仙台地図の店
☎980-0802 ☎022 (222) 8467代

涌谷町災害公営住宅予定地 案内図



凡 例	
	事業区域

涌谷町災害公営住宅予定地 案内図

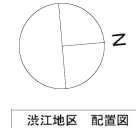


整備戸数: 12戸
 入居時期: H27.4月

凡 例	
	事業区域

外構・舗装凡例 (※仕上表-1参照)	
庭	野芝張り
	コンクリート平板ブロック (300×300×60) 敷き
	砂利目地 W=100 (山砂利)
建物周囲	川砂利敷き t=90 W=900
家庭菜園スペース	整地のまま
ゴミ置場	※共通詳細図参照
	敷地境界線を示す
	雨水ます: コンクリート製300×300、コンクリート蓋 捨てコン t=50 再生C-40 t=100
U150	コンクリートU型側溝150A、コンクリート蓋 <9-1 2-2>

(EL10.40) : 設計GL=2.0 (外構仕上がりレベルを示す)



渋江地区 配置図

一級建築士 登録第67887号 針生 丞

※ -○- : 工事範囲区分を示す
 ※ -○- : 仕上範囲区分を示す
 ※ <OO> : 別途工事範囲を示す

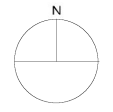
針生 丞 建築研究所

構図	機回	設計	作図	年月日	工事名称	図号
					H 25年度 浦谷町災害公営住宅 新築工事	A
					図名	配置図-1
					縮尺	1:200 (A1) 1:400 (A3)

外構・舗装凡例 (※仕上表-1参照)

底	野芝張り
	コンクリート舗装 t150 <9-21-3>
	アスファルト舗装 A=15-5 <9-21-1>
	コンクリート平板ブロック (300×300×60) 敷き 砂利目地: W=100 (川砂利)
建物周囲	川砂利敷き t=90 W=1,000
家庭菜園スペース	整地のまま 1800×5400
----- 敷地境界線を示す	
	雨水ます: コンクリート製300×300、コンクリート蓋 捨てコン t=50 再生C-40 t=100
	コンクリートU型側溝150A、コンクリート蓋 <9-12-2>

(E-25.00) : 設計G.L.=2.0 (外構仕上がりレベルを示す)



※ -O- : 工事範囲区分を示す
 ※ -○- : 仕上範囲区分を示す
 ※ <OO> : 別添工事範囲を示す